

研究テーマ	郷土の PR ポスター制作を通した、表現力を高める学習指導の在り方 ～第 2 学年「伝えよう！土浦の魅力！」の実践を通して～
-------	---

土浦市立土浦第一中学校 教諭 村上 彰

1 テーマについて

「中学校学習指導要領解説美術編」第 1 節教科の目標「各学年の目標—第 2 学年及び第 3 学年の (2)」に「対象を深く見つけ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす」とある。これは、対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想や構想をする能力に関することと、発想や構想を基に創意工夫し、美しく表現する技能に関するものである。教科の目標には「美術の基礎的な能力を伸ばし」という内容が掲げられ、美術の基礎的な能力とは、関心や意欲などを基に、豊かに発想や構想をし、創造的な技能を働かせて作り出す表現の能力と、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り味わうなどの鑑賞の能力である。これらを踏まえ、「作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取る」こと、「豊かに発想や構想をすること」を重点的に捉えた学習指導について考察することにした。

授業実践においては、中学校学習指導要領解説美術編」第 2 節美術科の内容「(1) 表現の内容②」に「デザインや工芸などのように、伝えることや、使うことなどの目的や条件、機能と美の調和などを考えて発想し表現の構想を練り、意図に応じて材料や用具、表現方法を工夫して表現する活動」とあることから、伝えることを通して主題を明確にさせ、表現方法を工夫できるような学習指導の在り方について考えた。

本校の生徒は、全体的に題材に対して真剣に取り組むことができている。これまでに発想や構想を具体化し表現していく手立てを工夫しながら学習指導を行い、技能の向上に励んでいる。一方で、上手く描けるか、上手く作れるかということに目が向き、明確な主題をもてずに、最後まで制作意欲を保つことができない生徒もいた。

「伝える」ということを目標に置き、1 学年の鑑賞活動で伝えることについて考え、2 学年の制作で、伝える意図について考えることで主題を明確にする。伝える相手を設定することで、より具体的なイメージをもたせる工夫も必要であると考え、本研究に取り組んだ。

2 研究の実際

(1) 基本的な考え方

① 相手に伝えるという目的を明確にする手立て

自分の住んでいる街を PR するという目的を明確にし、様々な地域の PR ポスターを鑑賞することで「伝える」力を高められるようにする。

- ② 自分の考えを表すことのできる表現技法を身につけさせる手立て
コラージュやレタリングの技法を思い出すように指示し、描写力に気を取られがちな生徒の苦手意識を取り除き、アイデアが形になる喜びを感じさせてのびのびとした表現ができるようにする。
- ③ 制作過程において、言語活動により主題をさらに明確にする手立て
ある程度制作を進めた状況で他の人のアイデア共有する時間を取り、コメントし合うことで、改めて主題を明確にさせて制作意欲を継続させ、より意欲的な活動ができるようにする。

(2) 授業実践

① 題材名「伝えよう！土浦の魅力！」A表現 2学年 H26.4月～7月 実践

② ねらい

- 様々な視点から図案を描き、テーマを追究することができる。
- 伝えたい内容を形や色彩、図柄の効果を考え構想を練ることができる。
- 表現にふさわしい技法、構図、色調を考えて制作することができる。

③ 指導にあたって

ア 題材観

本校の第2学年の生徒は昨年、総合的な学習の時間に「土浦市長への提言書」を一人一案、作文形式でまとめた。土浦市を改めて見直し、改善点や企画の提案等を進めていく中で新しい魅力を発見することができた。既に考えをまとめたアイデアを美術と関連づけることで、より深い発想に繋がると考え題材を設定した。本題材では土浦市の魅力を伝えるポスターを制作する。名産品やイベント、自分で考えた企画などの魅力を伝えることを目的とし、ポスター制作を通して、言葉ではない方法でイメージを相手に伝えたり、受け取ったりする。自分の感覚と相手の感覚の共通点や相違点に気付けるよう、様々な表現技法を生かして表現できるように支援、指導に努めたい。

イ 指導観

生徒は、第1学年で美術の基礎的な技術を中心に学び、第2学年では、ポスター制作の前段階としてモダンテクニックを学んできた。制作活動に意欲的であり、自分のアイデアを形にしようと様々な方法を試すことができている。しかし、見る相手を意識し、メッセージのある作品制作の意識はまだ浸透していない。本単元では、今まで学んだ技術や技法を用い、ポスターをデザイン・制作する事により、美術を通して相手に伝える力を身につけさせたい。ポスター制作にはレタリング、コラージュなどのこれまで学んだ技法が多く用いられているため、効果的に相手に伝える方法を自分で考える事ができる。また、第1学年の総合的な学習の時間に「市長への提言書」として土浦の魅力や問題を調べた経験と関連させ、郷土への関心をさらに深めさせていく。完成した作品は相互鑑賞を行い、それぞれの作品のよさを感じとらせたい。

④ 指導計画（10 時間扱い）

次	時	学習の内容	指導上の留意点	評価計画			
				関	発	技	鑑
1	1 2	○コラージュの技法を学ぶ。	・切って貼るだけでも作品を作れることを実感させる。 ・コラージュの参考作品も見せる。	○		○	
2	3	○伝える内容を考える。	・総合的な学習の時間に書いた市長への提言書をもう一度読ませ、おもしろい内容の提言書をいくつか紹介し、新しい発想も浮かぶように支援する。	○			
	4 5	○ポスターの構図を考え、アイデアスケッチをする。	・地域の PR ポスターの例を掲示し、アイデアのヒントにする。 ・この後の作業に集中できるように写真を用いる場所や大きさ、描くための資料等があるか等、細かくイメージさせるように対話しながらスケッチさせる。	○	○		
	6	○アイデアを互いに発表し合う	・付箋を使って友達の作品の良いところを書き残し、今後の制作の参考にする。	○			○
3	7 8 9	○主題を明確にもち制作を進める。	・アイデア発表を聞いて、生徒が使いそうな資料をあらかじめ何種類か用意しておく。 ・机間指導をしながらアドバイスしていく。	○		○	
4	10	○自分や友達の作品を鑑賞し合う。	・ポスターは「伝える」ということが目的ということを再度確認してから相互鑑賞を進める。				○

(3) 研究の実際

前段階ではコラージュで小さな作品を制作した。絵を描くということに苦手意識をもっている生徒が多く、写真や雑誌の切り抜き等を貼付けることで表現することもできることを意識させた。自分の表現したいものの写真や切り抜きなどを集めることでポスターを制作する上での情報収集にも繋がり、主題により迫ることができると考えた。

導入段階では様々な地域の PR ポスターを見せた。レタリングやコラージュ等様々な技法が使われていることに気付かせるよう声かけをし、昨年度の総合的な学習で書いた「市長への提言書」を自分で読み返して、土浦市の活性化に関するアイデアをもとに主題の決定をした。

第 2 段階では制作の構想を練った。主題をもとにポスターの内容を構成し、文字やイラスト、コラージュ等どこに何を入れるかアイデアスケッチを描き、机間指導を行いながらアイデアを固めていった。この段階で明確に作業内容をイメージさせることが大切だと考え、対話しながら支援した。

アイディアスケッチを進めた段階で一度学級で発表し合いアイディアの共有を図った。付箋を用いてアイディアスケッチにコメントを残すことで、自分の制作のヒントにしたり、自信をもって進めたりできるきっかけづくりをした。

第3段階では各自の主題を明確にもたせて制作を進めた。第2段階で生徒とやり取りしながら必要と思われる土浦市に関する写真等をあらかじめ用意しておいた。資料としての使用やコラージュの素材として使用することができた。

前段階	<ul style="list-style-type: none"> ・コラージュの技法習得 小さな作品制作  
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの鑑賞及び 「土浦市長への提言書」を用いたテーマ決定。
第2段階	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ 
第3段階	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の主題に沿って制作。

2 研究の成果

本研究では「相手に伝えるという目的を明確にすること」、「自分の考えを表すことのできる表現技法を身につけさせること」、「主題を明確にすること」を通して、のびのびと表現できるような学習指導の在り方を模索した。授業後の感想でも「最後まで集中して楽しく取り組めた」と答えた生徒が多く、様々な発想豊かな作品が多く見られた。コラージュを効果的に用いた作品も多く、絵を描くのは苦手だが写真を使うことができアイディアを形にできたと述べた生徒もあり、主題を明確にさせて最後まで表現することができたと判断できる。

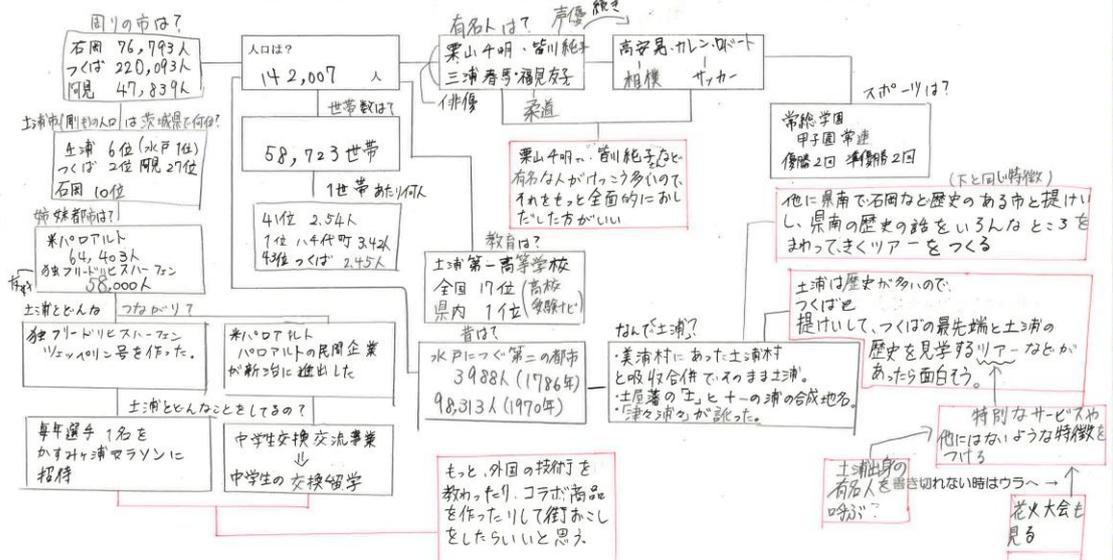
3 今後の課題

この題材で、相手に想いを伝えたり、相手の想いを受け取ったりというねらいを明確に制作することができた生徒が多かった。しかし、上手く書くことができない、ということに気を取られてしまい、なかなかアイデアを練ることができない生徒もいた。今後もさらに多くの生徒がのびのびと自信を持って表現活動ができるような工夫と学習指導の在り方を研究していきたい。

総合的な学習の時間に土浦市について考えたウェビング

魅力的な土浦へ・発展する土浦へ・住みやすい土浦へ ～市長・県知事への提言～

目標： 土浦市に関わるさまざまな事柄をリンクさせながら調べていく中で、自分なりの「どうすればいい」「こうできないか」が浮かんでくる！



「市長への提言書」をもとに土浦市子ども議会に提出

※送付書は不要です。この用紙だけを御送付ください。
(様式2)

提出2

土浦市立土浦第一中学校

「子ども(中学生)模擬議会」質問事項

心りがな	
生徒名	

※質問したいことを3件簡潔に書いてください。

① 題名	特産物の新商品化、ブランド化	について
質問内容	一中は観光客を増やしたいので、今までなかったレコソニアやほろの葉茶などをつくり、①の特産物のブランド化を進め、②さらに駅前の空いている施設を利用して期間限定で販売することを考えました。実現することはできるでしょうか、また実現のための課題は何でしょうか。	
② 題名	女市妹都市との関係強化	について
質問内容	パロアルト市や姉妹都市の人を土浦市にようこそ無料で和服や忍者などの衣装を着せて亀城公園で土浦市をまわることを考えました。実現することはできるでしょうか、また実現のための課題は何でしょうか。	
③ 題名	ゴミの分別	について
質問内容	今年も分別化したゴミの分別について市民が変わるようによく明確にしてほしいです。また市の条例にすることは考えていますか。	
担当教諭名		

※後日、選考された質問1件を400字詰め原稿用紙に清書していただきます。

※送付書は不要です。この用紙だけを御送付ください。
(様式2)

提出2

土浦市立土浦第一中学校

「子ども(中学生)模擬議会」質問事項

心りがな	
生徒名	

※質問したいことを3件簡潔に書いてください。

① 題名	ふるさと納税	について
質問内容	土浦市でふるさと納税に10月の花火大会のすしや席を入れたらいいかでしょうか。また土浦市の目標額はいくらでしょうか。	
② 題名	参勤交代ツアー企画	について
質問内容	土浦藩参勤交代で通っていた道を、土浦から東京、東京から土浦でツアーで巡り、その土地の名所や特産品を紹介するツアーを考えました。実現することはできるでしょうか、また実現のための課題は何でしょうか。	
③ 題名	霞ヶ浦の藻の活用	について
質問内容	藻を使ってカリウムを多く含む研究者がづくりにいます。つくはの研究所と協力して霞ヶ浦の藻を資源利用する事業を進めたいと思いますか。	
担当教諭名		

※後日、選考された質問1件を400字詰め原稿用紙に清書していただきます。

コラージュの技法を用いた作品

